



いいたて村民 ふれあい号 ふるさとを想う旅

11月28・29日、震災後3回目の「いいたて村民ふれあい号」が実施され、参加した村民が秋深まる栃木県を旅しました。笑いあり、涙ありの2日間。旅先での思い出をご紹介します。

スタート



朝8時 飯野出張所前から出発！

湯西川温泉



湯西川温泉に宿泊。大いに笑い語りました♪

龍王峡



巨岩と清流が
おりなす自然の
芸術品

2日目の龍王峡では、その名の通りまるで龍がのたうつ姿を思わせるような迫力のある大絶景が待っていました。

芸術品

日光田母沢御用邸

最終目的地、日光田母沢御用邸記念公園では部屋数が106室ある御用邸や美しい庭園を見学しました。

御用邸に見る 歴史と伝統



ゴール

皆さん
おつかれさまでした！



栃木県茂木町・益子町をめぐる

道の駅もてぎ

地元特産ゆず、
おみやげがたくさん♪



町役場職員による
歓迎サプライズ！
ふるさとの歌に思わず涙も



中学校では嬉しいおもてなしがありました。町役場職員による楽器演奏に合わせて、懐かしの歌謡曲を歌う時間が準備されていました。ふるさとを題材にした曲が流れると思わず涙する姿も見られました。

益子町



絵付け体験
オリジナル湯呑みの完成！



最初に訪れたのは、陶器「益子焼」で知られる益子町。益子焼の湯呑みに絵付けを行いました。

茂木中学校

地元の木を使って建設した
中学校！茂木中学校



校舎の特徴や町の人達の想いを話す古口達也町長



木のぬくもりが随所に
感じられる校舎です



震災後、職員の派遣等で村を支援してくださっている茂木町を訪ね、同町の木材を使って作った茂木中学校を見学しました。現地では、先日行われた村文化祭にも出席いただいた古口達也町長をはじめ、副町長、同町役場職員から中学校施設の説明を受けました。古口町長からは、完成までの経緯をユーモアたっぷりにお話いただき、参加者は、町の取り組みについて熱心に聞き入っていました。